事業番号	11　10　01	**事業改善シート（令和７年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業名	**県有施設営繕事業**	部局	建設部	課・室	施設課
		実施期間	不明　～	E-mail	shisetsu @ pref.nagano.lg.jp

1　現状と課題

施設の実情や社会情勢等に合わせ、適切な施設整備が求められる中、財産管理者（予算管理部局）が行う施設の営繕事業について、設計、工事などが適切に執行されるよう技術的に支援することを目的とし、工事費が概ね1,000万円以上かつ難易度の高いものについて財産管理者（予算管理部局）から予算の再配当を受けて事業を執行している。

2　事業目的

工事費が概ね1,000万円以上かつ難易度の高い工事等の新築、増築及び改修工事等の営繕工事を担うことにより、県有施設の適切な整備を推進する。

3　事業目的を達成するための取組

①県有施設の営繕工事等

○松本平広域公園陸上競技場の整備
・2028信州やまなみ国スポ・全障スポの総合開・閉会式及び陸上競技の会場となる本競技場の整備を行う。

○高等学校施設再編・統合整備事業
・高等学校の統合・再編に向けた小諸新校及び伊那新校の施設整備工事並びに須坂新校ほか３校の設計業務を実施。

○特別支援学校施設整備
・老朽化や児童生徒数の増加による狭隘化に対応するため、松本養護学校及び若槻養護学校の施設整備工事の一部着工。
・寿台養護学校の設計業務に着手。



陸上競技場の完成イメージ

4　成果指標

（推移の凡例　↗：改善　↘：悪化　→：変化なし　―：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	新規営繕工事実施箇所数	個所	30	38	-	34	-	依頼箇所全て	達成	財産管理者（予算管理部局）からの依頼を基に、計画通り工事を進めることを目標とするため、新規営繕工事実施箇所数を設定。

5　本事業が貢献する総合５か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近３か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
1-3①	社会的なインフラの維持・発展										

6　事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計（予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	18,292	△ 2,530	15,762	15,744	15,633	19.2
R6年度	0	11,283	0	11,283	11,267	10,299	19.2
R5年度	0	8,537	0	8,537	8,526	8,273	19.2

事業番号	11　10　01	事業改善シート（令和７年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事　業　名	県有施設営繕事業	部局	建設部	課・室	施設課

7　主な取組実績と成果

①県有施設の営繕工事等



○松本平広域公園陸上競技場の整備
・松本平広域公園陸上競技場の建設工事の実施（R8年度しゅん工予定）
　外構・植栽工事に着手
　　（建設工事の状況　令和８年３月末時点　出来高91.59%）

○高等学校施設再編・統合整備事業
・小諸新校における既存棟改修工事・大体育館建設工事の完了、新棟建設工事の実施（R8年度しゅん工予定）
・伊那新校における設計業務の完了及び施設整備（第一期）工事に着手（R9年度しゅん工予定）
・再編統合４校（須坂新校、佐久新校、中野新校、赤穂新校）における設計業務の実施

○特別支援学校施設整備
・松本養護学校における除却工事の完了、寄宿舎・体育館ほか建設工事の実施（R8年度しゅん工予定）
・若槻養護学校における仮校舎改修工事等の完了、除却工事の実施（R8年度しゅん工予定）、
　新校舎等建設工事発注準備
・寿台養護学校における新棟建設工事設計業務の実施

8　成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	新規営繕工事実施箇所数	R6年度推移	-	R7年度推移	-	達成状況	**達成**

新規営繕工事箇所については、財産管理者（予算管理部局）と連携・協議を緊密に行いつつ、営繕計画の策定・発注を進め、目標どおりの工事等を実施できた。

9　今後の事業の方向性

(1) 上記７、８及び県民の意見等を踏まえた課題

・財産管理者（予算管理部局）からの依頼を基に、難易度の高い工事等の新築、増築及び改修工事等の営繕工事を継続実施。
・公共建築物の環境対策、災害対策及び県産木材の活用など、社会情勢の変化や多様な課題に対応した施設整備を推進。

(2) 事業改善の方策

・財産管理者（予算管理部局）からの要望を基に、社会情勢の変化を的確に対応しつつ、施設の実情に合わせた適切な営繕工事の実施。
・ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）への対応や再生可能エネルギーの活用、県産木材の適材適所への利用など、将来にわたる地域の基盤としての県有施設整備を促進。

事業番号	11 10 01	細事業一覧（令和７年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事 業 名	県有施設営繕事業		部局	建設部	課・室	施設課

細事業No.	細事業名	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
1	営繕管理費	8,273 千円	10,299 千円	15,633 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和７年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	営繕積算システム維持管理	委託	営繕工事の内訳書作成から工事費計算、各種設計書の作成・印刷まで一括処理を行うことができるシステムの維持管理業務委託
			営繕工事に係る内訳書作成40件
2	工事事務管理システム維持管理	委託	営繕工事の入札等で使用するシステムのデータ及びプログラムメンテナンス、データバックアップ、セキュリティー管理、システム障害対応等の委託
			営繕工事及び委託業務の入札90件
3	マイクロフィルム設計図のデータ化	委託	マイクロフィルムとして保管している県有施設設計図の画像データ化を委託
			マイクロフィルム約10万4千枚の画像データ化
4	営繕工事におけるDX推進事業	直接	BIMソフトウェアライセンス（年間サブスクリプション）、大型モニター等の導入
			コピー数量　前年比△22%